

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【公開番号】特開2013-81905(P2013-81905A)

【公開日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【年通号数】公開・登録公報2013-022

【出願番号】特願2011-223820(P2011-223820)

【国際特許分類】

B 01 F 5/00 (2006.01)

B 01 F 3/02 (2006.01)

【F I】

B 01 F 5/00 D

B 01 F 3/02

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月9日(2014.7.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内側で第1と第2の流体を混合する中空筒状の本体と、

前記本体の上流側端部に設けられて前記第1の流体を流入させる第1の流入口と、

前記本体の内側に配置され、前記第1の流体の流れる方向に沿った軸心を有し、両端が開口した中空筒状の混合促進体と、

前記本体の周壁に設けられて前記混合促進体の外周面に向かって前記第2の流体を流入させる第2の流入口とを備え、

前記混合促進体が前記本体とほぼ同心に配置されている流体混合器。

【請求項2】

請求項1において、前記本体を形成する第1の配管に、前記第2の流入口に第2の流体を供給する第2の配管が直交して接続されている流体混合器。

【請求項3】

請求項1において、前記本体を形成する第1の配管に、前記第2の流入口に前記第2の流体を供給する第2の配管が接続され、その接続部における前記第2の配管の端縁が前記第1の配管の内周面と面一またはこれよりも径方向外方に配置されている流体混合器。

【請求項4】

請求項1から3のいずれか一項において、前記第1の流体は前記第2の流体よりも低温である流体混合器。

【請求項5】

請求項1から4のいずれか一項において、前記本体における下流部が、下流に向かって通路面積が増大する拡径部により形成されている流体混合器。

【請求項6】

請求項1から5のいずれか一項に記載の流体混合器が、熱交換器の上流側に配置される熱交換システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

第2の配管28は排気ダクト25の円筒状部25aに直交して溶接により接続され、第2の配管28からの第2の流体である加温用ガスG5が、第2の配管28の下流端縁46によって形成された第2の流入口45から、本体41内に流入し、混合促進体38の外周面38aに衝突するようになっている。混合促進体38の外周面38aに衝突した加温用ガスG5は、混合促進体38の外周面38aに沿って案内されながら、排気ダクト25の円筒状部25aの内周面29と混合促進体38の外周面38aとの間を流れる。第1の流体である排ガスG4は第2の流体である加温用ガスG5よりも低温である。